

申立書

年 月 日

(あて先) 南城市長

(所有者) 住 所 _____

氏 名 _____ ⑩

このたび、私が建築又は取得しました下記家屋は、諸般の事情により現在住所を移しておりませんが、自己の住居の用に供するものに相違ありません。

記

家屋の所在地	南城市
家屋番号	番
転入予定年月日	年 月 日
現在の家屋の処分方法等(該当に○)	イ 売却する ロ 賃貸している ハ 貸家・貸間・社宅・寄宿舍・寮等 ニ その他(親族が住む場合等) ホ 処分未定
入居が登記の後になる理由(該当に○)	イ 借入で抵当権設定を急ぐ場合 ロ その他(前住人が未転出・本人又は家族が病気・子供の学校関係等)
備 考	

なお、証明交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません。

※複数名義で登記する場合は、すべての名義人の住所、氏名持分を連記して各々の印鑑を押印して下さい。(軽減措置を受ける人のみ)